

摂津市長 様

摂津市教育委員会教育長 様

提出者:鳥飼東小学校 PTA

提出日:2025 年 5 月 23 日

鳥飼東小学校統合に関する意見書

【意見の趣旨】

私たちは、統合実施に伴い児童の安全と教育環境を最優先に考慮する必要があると考えています。「私たちは何をしたら良いのか?」という視点を持ち、摂津市長様、教育委員会教育長様と共に今後の統合について考えていきたいと思い、本意見書を作成しました。

【具体的な課題と提案】

1. スクールバス運用の見直し

現在のスクールバス運行計画では、一部地域の児童のみが利用可能となっており、保護者・児童ともに大きな不安を抱えています。

→希望する全児童が利用できるようにし、学童保育利用者についても、希望する全児童が帰宅時にバスを利用できるようにすることを提案します。

2. 統合決定地プロセスの透明化

今回の統合は、鳥飼東小学校と鳥飼小学校の児童や保護者の意見が十分に反映されないまま決定されたと感じています。

説明会に出席している方だけが統合について興味や意見がある方というわけでは無く、興味や意見を持っているが参加できない保護者や住民も多く存在していた事実があるということも認識していただきたい。

→統合プロセスの検証を行い、保護者や地域住民へ説明を求めます。その際、学校や保育園、幼稚園、通園していない乳児の保護者へお便り配布や摂津市公式 LINE による情報配信を希望します。

今回、保護者より疑問・反対の声が上がった事実を重く受け止めていただき。

今後、統廃合が必要となった場合、保護者も統合地を検討する会へ参加させる、意見交流会等を増やす、議事録はホームページなどで閲覧できる状態を作ることとを提案します。

3. 周知方法の見直し

今回、多くの保護者から「統合が決まったことを知らなかった」との声が上がっていることから、広報誌等の記載内容と記載方法の見直しを提案します。

→広報誌は摂津市における重要な情報伝達ツールとの認識があります。今回の統合に関して、説明会の告知だけでは無く、その後の結果等も記載する必要があると考えます。また記載方法について、市民に分かりやすい言葉（議会だよりのような[摂津市立学校条例の一部を改正する条例制定の件]ではない言葉）での記載が必要であり、他の地域情報と分ける形でレイアウト等を変更するなど重要な情報の差別化を行うことを提案します。

4. 安全対策強化

統合後、児童は大阪高槻線等の交通量が多い道路を横断することとなります。このルートは交通量が多く、過去に分校化された理由の一つでもあります。通学はもちろん、放課後遊びの範囲ともなってくるため、交通事故の危険性が増すことが懸念されます。※令和9年に、仁和寺大橋の無料化も始まり、さらに交通量が増えることも考慮する必要がある

→学校通学時は希望者をバスで送迎する。また、通学路に関しては、その地域に住む保護者・住民（自治会等）、通学点検を行っている青少年指導員、交通専従員の声を反映した通学路を検討できる検討会を持つようにする。

さらに、放課後の安全確保のため、横断歩道や信号の点検、防犯カメラの設置を至急実施することを求めます。

5. 統合後の学校環境

◆鳥飼小学校への統合後、施設の安全対策や学校環境について不安の声が上がっています。

→安全対策については、老朽化対策(壁水道管等)の公表。

→学校環境については、職員室が2階になるという事から不審者対応の遅れや運動場でのトラブルでの遅れが生じないような対策。

→運動場が鳥飼東小学校より狭いことから、運動会や参観日等に保護者の駐輪場が足りない問題が起こることが予想されます。この対応についての具体的な解決策を提示していただきたいです。(この場合、鳥飼東小学校であれば裏門、正門が使用できたため対策が可能であったと考えています。鳥飼小学校内には駐輪スペースが確保できるのか。)

→スクールバスの停車地について距離があり交通量が多いため交通専従員の配置が必要と提案します。(鳥飼東小学校で有れば、バスが乗り入れる事や正門前に付けることが出来た)

→上記内容に関して、意見が出ている要因の一つとして考えれるのが鳥飼東小学校の保護者が、鳥飼小学校へ立ち入ったことがないからと考えられます。具体的な対策と共に、鳥飼東小学校の保護者が鳥飼小学校の校舎を見て回れる見学会の開催を提案します。その際、学校の設備や安全性について説明等を行う職員を一人配置することを提案します。

◆鳥飼東小学校の跡地について、現在複数の地域の団体が使用している現状を踏まえ、各団体との交渉は進んでいるのか懸念しています。

→とりかいひがし遊育園の保護者からは、運動会場所や避難所となっていることから、令和8年度以降の避難所の提供や運動会場所の話し合いは行われているのか住民へ説明することを提案します。

6. 地域の将来人口動向の考慮

統合後も新1年生は1クラスのままであり、適正規模・適正配置の問題は解決していません。『鳥飼地域における学校の適正規模・適正配置計画』において令和14年には鳥飼地域の中学校小規模に係る検討との計画が打ち出されています。

今回の統合について、まちづくりグランドデザインにある魅力ある学校づくりが反映されていないと懸念しています。

→鳥飼まちづくりと学校の統合に関しては、どのような連動性を持って動いているのか住民への説明と周知をお願いします。

現状の見え方について、「教育委員会→適正規模に伴う統合」「鳥飼地区まちづくり→統合後の跡地利用」について、個々に動いている印象を受けます。このような状況が、地域住民の混乱を招いています。2月に行われたグランドデザインのワークショップでは、自治会からの参加者が統合に関する住民説明会と勘違いされる状況が発生しました。

双方が連動して居ない状況では、魅力あるまちづくりも魅力ある学校づくりもできないのでは無いかと考えています。その部分に関して関係部署、市長の考えを住民へ説明していただくことを提案します。

今回の統合では、子どもたちが安全に、安心して学べる環境を提供することが最も重要です。私たちは、統合の実施にあたり、児童の安全と教育環境を最優先に考慮していただきたいと考えています。

その為、統合に関わる協議会・検討会に関しては、通学路、学童保育も含め、保護者代表者のPTAも参加させていただきたい。「保護者の立場で、何ができるのか？」も合わせて一緒に考える事の出来る場を求めます。

以上の意見内容とアンケート資料を踏まえ、摂津市長様、摂津市教育委員会教育長様の意見交流会の場を設けていただけますよう、お願い申し上げます。